

1 単元名

Lesson 7 Wheelchair Basketball
「尊敬する偉人の魅力をマチュー先生に伝えよう」

2 単元設定の理由

(1)教材について

- 本単元は、障がい者向けのスポーツが題材である。終末のエッセイでは、車いすバスケットボール日本代表の網本麻里選手の競技人生について読む。困難を乗り越え競技の第一線で活躍している網本選手の生き様を知ることによって、夢や目標に向かう勇気をもったり、尊敬する人物の魅力に今一度目を向けたりすることに適した教材である。
- 新出の言語材料は be 動詞の過去形と過去進行形の肯定文、否定文、疑問文である。その用法を理解し習得することによって、学習者は、過去の状態や限られた期間内においてなされていた動作について、正確に表現することができるようになる。
- 学習指導要領 1 目標(3) 話すこと[発表] イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」指導と位置付ける。

(2)生徒について

- 本学級の生徒は、意欲的に英語学習に取り組める。単語の発音練習や音読練習、会話活動を活気のある雰囲気で行える。また、誰とでもペアを作り、滞りなく活動に参加できる。一方で、自分の英語表現の正確さに自信が持たずに発表することに消極的になりがち傾向がある。
- 令和4年11月に実施した授業アンケートの結果を見ると、約5割の生徒が「話す」ことに苦手意識を感じている。一方で、「聞く」「読む」「書く」については、約7割の生徒が得意と感じている。「話す」ことへの苦手意識が他の領域に比べて強いことから、学習者の得意とする「読む」「聞く」から得た情報について「話す」活動を通して、苦手意識を克服させたい。
- 英語の授業としては、各単元末にALTへの発表活動を設定し、既習の語句を積極的に用いて表現させてきた。また、本文内容理解では、登場人物に関する発問の答えを英語で発話し合わせることで、即興的運用力を高めてきた。さらに、語彙習得のために、chromebook(以下、CBとする)の語彙シートで単語クイズを出し合う活動を継続的に行ってきた。

(3)指導について

- 指導にあたっては、単元を通して学ぶ be 動詞の過去形を用いて、尊敬する偉人の魅力を発表する言語活動を設定する。これまで指導してきた Opening, Body, Closing の構成を意識して発表することを促す。また、言えなかった英語表現や誤用が多かった表現を全体で共有する時間をとることで、正確な英文で発話できるようにする手立てとする。
- 「話す」ことに苦手意識がある生徒に対しては、単元の始めに発表の型を示したり、全体で言えなかった表現を共有したりすることで改善を図る。また、つなぎ言葉を指導したりすることで、紹介したい人物について30秒以上話し続ける手立てとする。さらに、尊敬する偉人の魅力が伝わるためにはどのような情報を伝えればよいかについて、CBを用いて全体で考えさせることで、発表内容の充実を図り、「話す」意欲につなげる。
- 言語活動後に中間指導の場を設け、クラスメイトの優れていた点を共有することで、発表を内容面と言語面と二方面から深めさせたい。

3 単元の目標および評価規準

ALT の先生を感心させるために、紹介したい人物の魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①be 動詞の過去形の肯定文,否定文,疑問文と過去進行形の意味や働きを理解している。 ②紹介したい人物の魅力について,簡単な語句や文を用いて,まとまりのある内容を話す技能を身に付けている。	紹介したい人物の魅力について,ALT の先生を感心させることができるように,既習事項を駆使しながら,事実や自分の考え,気持ちなどを,簡単な語句や文を用いて,話している。	紹介したい人物の魅力について,ALT の先生を感心させることができるように,既習事項を駆使しながら,事実や自分の考え,気持ちなどを,簡単な語句や文を用いて,話そうとしている。

4 単元計画と評価計画及び方法

時	主な学習活動・ねらい	指導上の留意点【問いの工夫】	評価規準			評価方法
			知 技	思 判 表	態 度	
1	単元の目標を知り,見通しをもつ。	【I】単元のゴールを知ろう。 【II】尊敬する偉人の魅力が伝わるために必要な情報には何があるか考えよう。	/	/	/	/
2	【Get Part1】マークのビデオメッセージを理解する。	【I】be 動詞の過去形の文構造と意味を理解しよう。 【II】マークのビデオメッセージを聞き取ろう。	①	/	/	小テスト
3	【Get Part1】マークのビデオメッセージを参考に,冬休みの思い出を伝える。	【I】冬休みにしたことを伝え合おう。 【II】自分の気持ちとともに冬休みの思い出を語ろう。	②	/	/	行動観察 ワークシート
4	【Get Part2】マークとジンの電話のやりとりを理解する。	【I】過去進行形の文構造と意味を理解しよう。 【II】ジンがマークに電話した理由を聞き取ろう。	①	/	/	小テスト
5	【Get Part2】クラスメイトの自宅での過ごし方調査をする。	【I】昨晚のクラスメイトの過ごし方を調査しよう 【II】調査結果の感想をグループで伝え合おう。	②	/	/	行動観察 ワークシート
6	【USE Read】網本選手のエッセイから読み取れる情報を相手に伝える。	【I】網本選手の魅力が伝わるのに必要な情報を読み取ろう。 【II】網本選手の魅力を伝えよう。	/	/	/	/
7 本 時	【USE Read】マチュー先生に紹介したいスポーツ選手の魅力について紹介する。	【I】自分の好きなスポーツ選手の魅力がマチュー先生に伝わる発表をしよう。 【II】クラスメイトの発表のよいところから学ぼう。	/	○	○	行動観察 google スプレッド シート
8	尊敬する偉人の発表準備をする。	【I】尊敬する偉人をグループで出し合おう 【II】尊敬する偉人の魅力が伝わる発表準備をしよう。	/	/	/	/
9	尊敬する偉人をマチュー先生に発表する。	尊敬する偉人の魅力をマチュー先生に伝えよう	/	○	○	行動観察 google スプレッド シート
後 日	ペーパーテスト	・ペーパーテストに取り組ませる。	①	○	○	ペーパーテスト

単元末の言語活動で期待する生徒の姿

Hello. How are you? Do you know this great person? No? OK. Today, I will tell you about him.

This is Ichiro Suzuki. He was a major leaguer. He was a star. He was in Seattle Mariners. He made two hundred hits every year. This is amazing! Other players could not do it. He practiced and played very hard, but he didn't get hurt. He always tried his best. He was very strict to himself.

He was the best player in the world. I like him. Thank you for listening.

5 本時案(7/9)

(1)題材名 Lesson7 USE Read: Wheelchair Basketball

(2)本時のねらい 自分の好きなスポーツ選手の魅力を,その人物の功績や特徴に自分の気持ちを添えてマチュー先生へ伝える練習をする活動を通して,即興的に伝えることができるようにする。

(3)展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
5 4 3	1.偉人クイズをする。 2.前時の復習をする。 3.本時のめあてを知る。	○ペアでクイズに取り組ませ,言えなかった英語表現を全体で共有する。 ○前回の内容を振り返る。	
		○グループで知っているスポーツ選手を出し合わせる。	
7 12	4.発表の準備をする。 5.グループで発表する。 (1)ルール説明をする。 (2)発表をする。	○魅力が伝わるために必要な情報について考えたことを復習する。 ○必要な情報を CB で調べさせ,マインドマップにまとめさせる。 ○早く準備が整ったら発表練習をさせる。 ○CBに紹介する選手の写真を表示させる。 ○発表者,聞き手(マチュー先生役),オーディエンスの役割を与え,交代させる。	紹介したい人物の魅力について,事実や自分の考え,気持ちなどを,簡単な語句や文を用いて,話している。【思考・判断・表現】(行動観察)
		○クラスメイトの発表のよいところから学ぼう	
4	6.中間指導を行う。	○言語面や内容面について,班員の優れていた点を発表させ,全体で共有する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される生徒の意見</p> <p>○言語面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Do you know him/her?と確かめていた。 ・ I think を使って自分の考えを伝えていた。 <p>○内容面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界初のことを成し遂げた,ということを伝えていた。 ・ その人の人柄や性格も伝えていた。 </div>	
10	7.再び発表する。	○グループのメンバーを変えて,複数回取り組ませる。	
5	8.振り返りをおこなう。	○google スプレッドシートに自己評価を記入させる。 ○数名に振り返りを発表させる。 ○次時で,尊敬する偉人についての発表準備をすることを予告する。	紹介したい人物の魅力について,事実や自分の考え,気持ちなどを,簡単な語句や文を用いて,話そうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(google スプレッドシート)

本時の言語活動で期待する生徒の姿

Hello. How are you? Do you know this great person? No? OK. Today, I will tell you about him.

This is Ichiro Suzuki. He was a major leaguer. He was in Seattle Mariners. He made two hundred hits for ten times. This is amazing. He could hit the ball really well.

He is my hero. I like Ichiro very much. Thank you for listening.

単元の評価規準	観点	十分満足(A) 3点	おおむね満足(B) 2点	努力を要する生徒への手立て
① be 動詞の過去形の肯定文,否定文,疑問文と過去進行形の意味や働きを理解している。 ②紹介したい人物の魅力について,簡単な語句や文を用いて,まとまりのある内容を話す技能を身に付けている。	知識 技能	①② 誤りのない正しい英文で話している。	①② コミュニケーションに支障のない範囲の間違いで話している。	①○英語で言えなかった表現を全体で確認する時間を設ける。 ○クラスルームイングリッシュで教師が積極的に be 動詞の過去形や過去進行形を用いて生徒とやり取りをすることで,繰り返し言語材料にふれる機会を作る。 ○語順カードを黒板に貼り,参考にさせる。 ②○発表の中間指導で,級友の優れた表現を全体で共有し,参考にしよう促す。 ○発表の型を全体で共有し,参考にさせる。
紹介したい人物の魅力について,ALTの先生を感心させることができるように,既習事項を駆使しながら,事実や自分の考え,気持ちなどを,簡単な語句や文を用いて,話している。	思考 判断 表現	○紹介したい人物の魅力について,40秒以上とまらず話し続けられる情報を用意しており,より多様な視点からその人物の魅力伝えてる。	○紹介したい人物の魅力について,30秒程度とまらずに話し続けられる情報を用意しており,複数の視点からその人物の魅力伝えてる。	○発表の型を全体で共有し,参考にしよう促す。 ○適宜つなぎ言葉の指導を行う。
紹介したい人物の魅力について,ALTの先生を感心させることができるように,既習事項を駆使しながら,事実や自分の考え,気持ちなどを,簡単な語句や文を用いて,話そうとしている。	主体的に学習に取り組む態度	○聞き手を意識して発表しようと工夫していることに加えて,自己調整をしようとしている。	○聞き手を意識して発表しようと工夫している。	○中間指導で共有した内容を積極的に活用しよう促す。